

ハイクオリティと低ランニングコストを両立！ 写真愛好家のことを考えたプリンター

## 新しくなったエプソンEP-10VAで 作品づくりを楽しもう

インクジェットプリンターは、自分の手で作品を作り込めるのが最大の魅力です。しかし、「インク代が高い」「インクの消費が気になってたくさんプリントできない」という悩みがあります。静岡県在住の大角勝さん、山本田鶴子さんも、同様の悩みがあるそうです。エプソンのEP-10VAは、「クオリティ」と「低ランニングコスト」を両立した実力派。早速、お二人に試していただきました。



### Colorio V-edition EP-10VA



●本体価格  
オープンブライズ

●インク価格  
6本パック 4,740円  
1色 810円

※エプソンダイレクトショップ  
での税抜価格

<http://www.epson.jp/products/colorio/special/ep10va/>

本誌月例年度賞作家でもある大角さんは、コンテスト応募や例会に提出する作品など、日頃から多くのプリントをしています。それだけに、「インク代ってすごく気になります。納得いくものをプリントするには何枚も出力しますし……」と悩んでいる様子。しかも、「日本を代表するようなアマチュアが応募するコンテストだからこそ、品質の面は絶対に譲れませんよね」と、

コストとクオリティの両方を求めます。一方、本格的な作品印刷に力を入れている山本さんは、プリント技術向上のためにどんどんプリントしたいと思っても、やっぱりコスト面が気になります。そんな写真愛好家にとって大きな悩みである「クオリティ」と「低ランニングコスト」を両立させたのが、Colorio V-editionとして誕生したEP-10VA。Epson ClearChrome K2インクを搭載した染料プリンターのフラッグシップモデルなので、高画質な作品づくりを楽しめるのももちろん、低ランニングコストも実現しているのが魅力です。

大角さんは「全国規模のコンテストとなれば、写真の内容だけでなく、作風にあったプリント仕上げが求められます。EP-10VAならそれに応えるだけの高いクオリティで満足です」と品質の高さを語り、山本さんも、「これからはどんどんプリントしてコンテストにも応募できる作品づくりをしていきたい」と気分が高まった様子。

多くの人の悩みであったランニングコストが解決されたのであれば、あとはほとんどプリントするだけ。EP-10VAは、作品づくりや、複合機として普段使いつつ大きな味方となってくれることでしょう。

#### よくあるプリント時の「悩み」

多くの写真愛好家に共通しているのが、「たくさんプリントしたいのにインク代が気になって躊躇する」「トータルでコストを下げようと安い用紙を選択してしまう」「インクを消費するので納得していないのに諦めてしまう」「コンテスト映えるような色鮮やかなプリントをしたいのに思うような色が出ず、何枚も失敗プリントを繰り返す」とい

う悩みです。

EP-10VAは、低ランニングコストにより効率が良くなったことで、数多くのプリントをしても、インク代の心配がなくなり、たくさんプリントすることによって技術の向上にも繋がります。コンテストはプリントの品質も含めて、作者の腕が試されるので、プリント技術が高まれば、入賞へも近づくはず！

#### コストの比較

※L判・写真用紙〈光沢〉  
で比較

EP-10VA …… 約12.7円

EP-978A3 …… 約20.6円

EP-4004 …… 約21.7円

日頃から作品づくりに励んでいる



#### 大角 勝さんの作品

【モノクロ写真モードでプリント】

用紙：写真用紙クリスピー(A4サイズ)



「家族が集まった何気ない瞬間ですが、モノクロにすることで、色の情報がなくなり、それぞれの人物の存在感が浮き上がってくるような気がします。黒のしまりがよいので、メリハリのある仕上がりになりますが、中間トーンの描写も申し分なく、私のイメージするモノクロ仕上げになりました。ウォームトーンが好きなので、微調整しながら完成度を高めていけますね」 (大角)

#### 大角さんオススメEP-10VA3つのポイント

##### ポイント①

#### 新インク搭載でカラーもモノクロも作品画質

「レッドとグレーのインクが搭載されたので鮮やかなカラー写真はもちろんですが、モノクロの表現力も高まりました。新開発の「Epson ClearChrome K2インク」は、暗部はブラック、ハイライト部はグレーインクで再現されるので、作品づくりの期待に応える品質です」

##### ポイント②

#### パソコンなしでも色補正にこだわれる

「写真愛好家の中にはパソコンでのプリントに難しさを感じている人もいます。そういう人には色補正一覧印刷などが便利です。本番と同じ用紙で一覧印刷をプリントするのはもったいないようですが、インク代が安くなったので、これで色を判断すればいいでしょう」



##### ポイント③

#### 表現力を高めるフチ設定などが簡単

「コンテストは審査員に自分の作品を見てもらうので、最後まで丁寧に仕上げなければなりません。写真の内容によっては、フチを大きめに取ったり、黒にして画面を引き締めることもあります。EP-10VAは液晶画面からもフチを4段階で設定できますし、パソコンを使う場合は付属ソフトのEpson Print Layoutからも簡単に設定できます」

#### コンテスト入賞を目指す



#### 山本田鶴子さんの作品

【高彩モードでプリント】

用紙：写真用紙クリスピー(A3サイズ)



「看板の色がきれいで、人物を入れて撮りました。高彩モードは、適度に彩度が上がり、抜けのいい仕上がりになり、すごく見映えがします。でも人物の表情は影響ないので、不自然さはありません。このような色を出すのは難しそうですが、タッチパネルを使った操作で簡単にプリントできました。これなら私にもできそうです」 (山本)

#### 山本さんオススメEP-10VA3つのポイント

##### ポイント①

#### A3サイズ機なのにコンパクトサイズ

「私たちの写真クラブでは、展示のためにA3サイズでプリントする機会が多いので、A3機が必要です。これまでは大きいのが悩みでしたが、EP-10VAは小さく収まるのがいいですね」



##### ポイント②

#### 普段つかいにも便利で簡単に操作できる

「本格的な作品づくりのできるプリンターですが、スキャナーとして使ったり、コピーもできるので、さまざまな場面で活躍します。また、背面給紙も可能なので、テストプリントや本番プリントなど頻繁にプリントする際にも便利」



##### ポイント③

#### コンテスト応募に役立つ「撮影情報」

「写真コンテストへ応募する際には、撮影データの記入を求められます。EP-10VAは液晶画面に撮影データが表示されますし、撮影情報付印刷もできるので、Exif情報を確認しなくてもいいのですごく便利。コンテストに応募するには必須の機能です」

